

## <金標準、中国人民銀行 1 月も金準備金 5 トン増加の 2285 トン・・・>



(出所：オアシス)

中国人民銀行（中央銀行）の1月の金準備金は5トン増加させ2285トンまで引き上げており、昨年11月から3ヶ月連続で増加させている。またトランプ大統領は中国に対して2月4日に10%の追加関税を発動させている。中国も対米国に対して140億ドル（2兆1700億円）規模の輸入品に10%～15%の関税を10日から課すと発表している。

特に週末に発表された雇用統計では、非農業部門雇用者数が14.6万人増と前回の17万人増を下回るも失業率が4%へ低下し、平均時給も前回を上回るなどインフレ観測が高まりを見せている。またトランプ大統領は「相互貿易について来週発表するつもりだ。他の国々と同じ扱いを受けられるようにするためだ」と指摘し、「この件について来週記者会見を開く予定だ」とも述べるなど、仕掛ける貿易戦争の激化につながる恐れがあると思われる。そのため関税を受けた市場では、金標準先物は14000円を一時下回るも再度14000円を回復して終わっており、再度リスク逃避で14200円を試みる値動きに思われる。

### <テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACAが切り下げ、シグナルも切り上げている。RCIでは短期が切り下げながら、長期は93%を維持するなど強気の継続を示唆している。ただオシレーターは目先の修正を示唆しており、14000円割れに注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,100,000 円(2025 年 2 月 10 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2025 年 2 月 10 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会が開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>